

## 令和2年度 静岡県立総合病院 カーテン賃貸借契約書(令和2～7年度)

地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立総合病院（以下「甲」という。）と  
（以下「乙」という。）との間に次の賃貸借契約を締結する。

（目的）

第1条 乙は別表に記された医療用カーテンを甲に貸与し、甲はその対価として乙に賃借料を支払うものとする。

（業務内容）

第2条 乙は、次項以下に規定する業務（以下、「本業務」という。）を実施する。なお、詳細は別紙「静岡県立総合病院カーテン仕様書」及び付帯する文書に定める。

2 乙は、令和2年10月1日までに甲の指定する場所にカーテンを設置する。

3 乙は、別に指定する間隔で、設置したカーテンを洗濯する。

4 甲の故意によらざる原因によりカーテンが汚損し、甲から洗濯依頼があった場合、乙は速やかにカーテンを交換及び洗濯するものとし、その費用は乙の負担とする。

（契約期間）

第3条 契約期間は、令和2年7月20日から令和7年9月30日とし、カーテン賃貸借期間は、令和2年10月1日から令和7年9月30日とする。

（使用の目的）

第4条 甲は、カーテンを病院における業務の用に供するものとする。

（賃借料及び支払方法）

第5条 甲は、乙に対して賃借料として、金 円（うち消費税及び地方消費税額 円）を支払うものとする。

2 賃借料の支払いは次に掲げるとおり分割して支払うものとする。

各月業務終了後	
金 円	
（うち消費税及び地方消費税額 円）	

3 前項の賃借料は、翌月10日までに乙が甲に請求し、甲は請求書を受領した日から30日以内に支払うものとする。

（メンテナンス業務実施計画書等の提出）

第6条 乙は仕様書に定めた期日までに、メンテナンス業務実施計画書及びメンテナンス業務実施結果報告書を甲に提出しなければならない。

（洗濯及び補修）

第7条 交換したカーテンについては洗濯及び補修を乙の負担により行うものとする。

2 乙はカーテンの洗濯及び補修等の方法について必要に応じて甲の指導を受け、又はその検査に応じるものとする。

(運搬)

第8条 甲と乙の施設間のカーテンの運搬は乙の負担により行うものとし、運搬専用車を用いるものとする。

(ウイルス感染防止)

第9条 甲は使用したカーテンを乙に引き渡すときは、ウイルス感染等の危険がないことを確認の上で引き渡すものとする。

(個人情報の保護)

第10条 乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱う場合は、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

(申出義務)

第11条 乙はこの契約締結後の事情の変化により、本業務を遂行することが困難となる、若しくは甲に不利になるような事情が生じたときは、その都度、甲に申し出て必要な指示を受けなければならない。

(権利義務の譲渡等の禁止)

第12条 乙は、第三者に対し本業務の全部もしくは一部の実施を委託し、あるいは請け負わせ、又はこの契約によって生じる権利義務を譲渡してはならない。但し、書面にてその旨を届け出て甲の承諾を得た場合は、この限りではない。

(契約の変更)

第13条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、本契約を変更しようとする時は、その理由を記載した書面を提出し、相手方の承諾を得るものとする。

(契約の解除)

第14条 甲は、次のいずれかに該当するときは、いつでもこの契約を解除することができる。

- (1) 乙が契約を履行しないとき、又は履行の見込みがないと甲が認めるとき。
- (2) 乙が法令等又はこの契約に違反したとき。
- (3) 甲がこの契約について不正の事実を発見したとき。
- (4) 乙が故意又は重大な過失により甲に損害を与えたとき。

2 前項のほか、甲は乙が次のいずれかに該当した場合は、契約を解除することができる。

- (1) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に該当する団体（以下「暴力団」という。）
- (2) 個人又は法人の代表者が暴力団員等（法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）である者
- (3) 法人の役員等（法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。）が暴力団員等である者
- (4) 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員等を利用している者
- (5) 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に

暴力団の維持運営に協力し又は関与している者

(6) 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者

(7) 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者

3 甲は、翌年度以降において歳入歳出予算の金額について、減額又は削除があった場合は、当該契約を解除する。

(損害賠償責任)

第 15 条 甲又は乙は、次に掲げる一の理由が生じたときには、その損害を被害者に賠償しなければならない。

(1) 乙が業務の実施に関し、甲又は第三者に損害を与えたとき。

(2) 前条の定めによりこの契約が解除された場合において、相手方に損害を与えたとき。

(賃借料の処理)

第 16 条 第 14 条の各項によりこの契約が解除された場合の賃借料の処理は、甲が認める既賃借部分に相当する金額をもって清算する。

(合意管轄)

第 17 条 この契約に関する訴訟については、静岡地方裁判所を管轄裁判所とすることに合意する。

(定めのない事項の処理)

第 18 条 この契約に定めのない事項については、法令の定めるところによるほか、必要な事項については甲、乙協議の上決定するものとする。

上記契約の成立を証するため、この契約書 2 通を作成し、甲及び乙が記名押印の上、各自その 1 通を所持する。

令和 2 年 月 日

(甲) 静岡市葵区北安東 4 丁目 27 番 1 号  
地方独立行政法人静岡県立病院機構  
静岡県立総合病院 院長 田中 一成

(乙)

## 個人情報取扱特記事項

### 第1 基本的事項

乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の適正な取扱いに努めなければならない。

### 第2 取得の制限

乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取得するときは、適法かつ適正な方法により取得しなければならない。

### 第3 安全管理措置

乙は、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

### 第4 従業員の監督

乙は、その従業者に個人情報を取り扱わせるに当たっては、当該個人情報の安全管理が図られるよう、当該従業者に対する必要な監督を行わなければならない。

### 第5 再委託の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、個人情報の取扱いを第三者に委託してはならない。

### 第6 複写又は複製の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、この契約による業務を処理するため甲から提供された個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

### 第7 資料等の廃棄

乙は、この契約による業務を処理するため甲から提供を受け、又は乙自らが作成し若しくは取得した個人情報が記録された資料等を、この契約終了後直ちに廃棄するものとする。ただし、甲が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

### 第8 目的外利用・提供の禁止

乙は、甲の同意がある場合を除き、本業務以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

### 第9 取扱状況の報告等

甲は、必要があると認めるときは、個人情報の取扱い状況を乙に報告させ、又は自らその調査をすることができる。

### 第10 事故発生時における報告

乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、直ちに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。

## 静岡県立総合病院カーテン仕様書

### 第1 カーテンの数量、大きさ、性能、設置場所

- 1 別表1のとおりとし、令和2年10月1日までにカーテンを新設し設置完了すること。
- 2 臨時クリーニングメンテナンス及び汚染カーテンクリーニングメンテナンス時の代替カーテンとして、少なくとも別表3のカーテンを準備すること。
- 3 別表2については新設せず、病院所有カーテンのクリーニングメンテナンスのみを行う。

### 第2 カーテンの仕上げ寸法

- 1 乙は、本仕様書の縫製加工指示に従って加工するものとし、現場の意向及びその目的に合った仕上げをすること。
- 2 カーテンの仕上げ寸法は別表のとおりとする。ただし、仕立て前に現場実測し、寸法の修正箇所がある場合は、病院担当者に報告すること。
- 3 別表及びカーテントグに記載する寸法は、(使用布寸法ではなく)仕上げ寸法とする。

### 第3 生地等の指定について

#### 1 生地の品質・色合等

- (1) 下表に示した製品のいずれかとする。
- (2) ベッド廻りカーテン及び間仕切りカーテンの作成について、仕上がり丈の足りない場合は、各メーカー同シリーズにて対応すること。

区分 \ メーカー あ	テイジン	東リ	リリカラ
ドレープカーテン(3A用)	KG432902	TKY7160	LC20314
遮光カーテン	アデン	エコブラインⅡ	フェアⅡ
レースカーテン	KG417701	TKY7407	LC20515
ベッド廻りカーテン(ネット有) 間仕切りカーテン(ネット有)	クリーンカーテン6SI	エコケアメッシュA	エースホスピタル
ベッド廻りカーテン(ネット無) 間仕切りカーテン(ネット無)	オートカーテン6SI	エコブレーン200	エースホスピタル プレーン
ベッド廻りカーテン(3A用ネット無) 間仕切りカーテン(ネット無)	KG432902	TKY7160	LC20314
シャワーカーテン	エコシャワー	シャワープレーン	オアシス

#### 2 生地の性能

- (1) 生地は消防法第8条の3に基づく消防庁長官の認定を受けた難燃性の生地であること。(防炎ラベル認定書を添付すること。)

- (2) 耐光堅ろう度は4級以上、洗濯堅ろう度は5級以上のもの。
- (3) 収縮率はタテヨコ共 1.0%以内のものとし、洗濯等でそれ以上の縮みが生じた場合は速やかに規定に適合するものに取り替えること。
- (4) ベッド廻カーテン及び外来等の間仕切カーテンについては、(一社)日本インテリアファブリックス協会の認定物品と同等以上の制電機能を有すること。
- (5) 病棟の窓用ドレープカーテンは、遮光3級の性能を有すること。
- (6) 間仕切カーテン（メッシュ）のメッシュ部分は、上部 60cm 程度とする。

#### 第4 縫製及び附属品等について

- 1 カーテン布は、ホツレ防止されたものを使用し、ホツレ防止されていないカーテン布は、上下の折返しは二つ折とし、上部折返しには 50mm 以上の芯地を入れ、下部折返しは 100mm に仕上げること。
- 2 フックは錆びにくいものを使用し、カーテンが脱落せず、ランナーから抜け落ちないように仕上げること。(マジックテープ式のものとは不可)
- 3 タッセルバンド及び房掛
  - (1) レースを除く窓用のカーテンは全箇所同生地でタッセルバンドを準備し、取り付けるものとする。房掛は、金属製の房掛を取り付けるものとし、種類・色等については事前に承認を得ること。
  - (2) ベッド廻用カーテンは、すべてマジックテープ付タッセルを裾上 800mm の位置に縫い付けること。

#### 第5 クリーニングメンテナンスについて

##### 1 定期クリーニングメンテナンス

##### (1) 定期クリーニングメンテナンス回数

場所	頻度	契約期間中回数
別表1のうち、救急処置室	2回/年	計 9回
別表1のうち、救急処置室以外（外来・病棟）	1回/年	計 4回
別表3（職員エリア）	1回/2年	計 2回

##### (2) 定期クリーニングの方法の指定

ア 定期クリーニングは、代替カーテン（乙負担）を取り付けた後、自社施設に持ち帰り、当仕様書に記載した方法によりクリーニングを行い、再び、取り付ける方法にて行うものとし、病院内及びその周辺へのクリーニング機器を持ち込んでの方法は、病院内及びその周辺に対する環境等諸事情を考慮し、禁止する。

イ カーテンの交換、洗濯について、乙は業務を実施する 30 日前までに別紙1の様式によりメンテナンス業務実施計画書（工程表）を提出し、承諾を受けた後に実施する。

また、乙は業務終了後 30 日以内に、別紙2の様式によりメンテナンス業務実施結果報告書

を作成し、作業の概要がわかる写真等を必要に応じて添付して、甲に提出すること。

ウ 院内への作業員の立入りは、安全及び管理上の点から、1回の定期クリーニングにつき、12回（12日）以内に全作業を完了すること。作業の期間は開始から完了まで1ヶ月以内とする。

エ 交換作業は、職員の指示に従い、患者の療養を妨げないよう心がけること。

オ クリーニング中は必ず乙負担の代替カーテンを取付け、常にカーテンが取り付けられている状態を維持し、患者に迷惑を掛けないようにすること。

カ カーテンの交換作業はフロア別を実施し、代替カーテンもそれに見合うサイズ・数量を準備し、速やかに行うこととする。代替カーテンの程度については、本カーテンと同等であり、色味等は遜色のないものをそろえることとし、病院担当に事前に提示し承認を得ること。

キ クリーニング後のカーテンは完全に乾燥した状態で取り付けることとし、生乾きで取り付けてはならない。

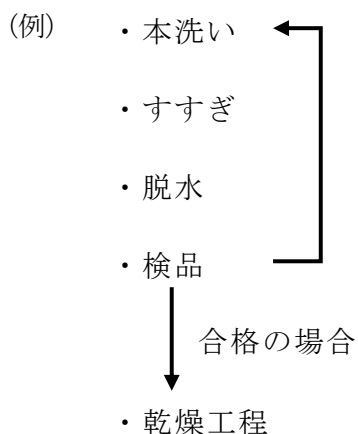
ク クリーニングの工程内で殺菌・消毒を必ず行い、院内感染の防止に心掛けること。（殺菌・消毒の方法は薬品または熱処理とする。）

ケ 各病室等への出入りには細心の注意を払い、患者の安全確保に心がけ、入室の時間を短時間にするよう努めること。

コ 日やけ、やぶれ等美観をそこなうものは、職員の指示に従い速やかに交換すること。

サ 定期クリーニングの際は、同時にカーテンレール等付帯設備の点検、補修を行い、カーテンが支障なく使用出来るようにすること。

### （3）クリーニング及び仕上げの方法



## 2 臨時クリーニングメンテナンス

（1）何らかの理由でカーテンが汚れたときは、随時交換洗濯すること。

なお、臨時クリーニングメンテナンス費用は、契約書第5条の賃借料に含まれるものとする。

（2）カーテンが汚れたときは、甲が当該カーテンを取り外してビニール袋に入れて保管し、乙に回収の連絡をする。

（3）臨時メンテナンスの依頼には、当日中の対応を心がけるものとし、やむを得ず、翌日対応とな

る場合は甲へその旨を連絡すること。

- (4) クリーニングについては、当院からカーテンを回収した日を含め営業日 6 日で全工程を終了し、返却すること。

### 3 汚染カーテンクリーニングメンテナンス

- (1) 感染症患者が利用した部屋のカーテンの交換及び洗濯を随時行うこと。

なお、汚染カーテンクリーニングメンテナンス費用は、契約書第 5 条の賃借料に含まれるものとする。

- (2) 甲は汚染カーテンクリーニング依頼の連絡はしないため、乙は、原則週 3 回、各階に設けられているリネン庫へカーテンを取りに来ること。

- (3) クリーニングについては、当院からカーテンを回収した日を含め営業日 6 日で全工程を終了し、返却すること。

## 第 6 特記事項

- 1 感染、汚染に対処するため、甲はカーテン専用の消毒設備を備え、その状況に応じた処理を随時適切に行うこと。また、クリーニング業法施工規則第 1 条第 1 項に規定する指定洗濯物は、クリーニング業法第 3 条第 3 項第 5 号に基づき適切に消毒を行うこと。
- 2 リネン類の処理に関わる各施設（入荷場、選別場、仕上げ及び出荷場等）が隔壁等により他の洗濯物に関わる各施設と完全に区分されていること。
- 3 乙は代替カーテンを常備し、緊急の汚れ等で病院から要請があった際は速やかに対応すること。
- 4 クリーニングメンテナンスの対応を確認する意味で病院から要請があった場合、乙は主な病院へのメンテナンスリースの実績等を示す資料を提出すること。また、同時にカーテンの洗濯設備・プレス（アイロン）設備・消毒設備及び代替カーテンの写真を提出すること。
- 5 上記の設備・代替カーテンの確認のための、立入検査に協力すること。
- 6 カーテンの社名表示は出来るだけ小さくし、目立たない所に取り付けること。
- 7 下記の事項は禁止事項とする。
  - (1) 院内及びその周辺での汚水（洗濯排水）の排出
  - (2) 業務目的での院内の電気、水の使用
  - (3) 病院及びその周辺に対する不利益、迷惑な行為
  - (4) 上記に関連する一切の事項

## 第 7 その他

本仕様書に定めのない事項については、甲乙協議して決定する。

院長	事務部長	次長	管財課長	施設管理係長	係員	担当

## メンテナンス業務実施計画書

1. 業務名 カーテン賃貸借契約

2. 作業箇所

提出年月日	令和    年    月    日 ( 曜 )	立入り    日前
作業予定年月日 及び作業人員	令和    年    月    日 ( 曜 )    時 分～    時 分	名
	令和    年    月    日 ( 曜 )    時 分～    時 分	名
	令和    年    月    日 ( 曜 )    時 分～    時 分	名
	令和    年    月    日 ( 曜 )    時 分～    時 分	名
	令和    年    月    日 ( 曜 )    時 分～    時 分	名
作業箇所 内    容		
影響及び 安全対策		
作業責任者 氏名・連絡先		
本院への 依頼事項		

\* 箇所ごとの作業工程等を詳細に記したものを別途添付すること。

上記のとおり作業を行うので申請します。

令和    年    月    日

作業責任者

印

※作業責任者の個人印でかまわない。FAX での送付も可とする。

院長	事務部長	次長	管財課長	施設管理係長	係員	担当

## メンテナンス業務実施結果報告書

1. 業務名 カーテン賃貸借契約

2. 実施した内容

実施年月日人員内容	月日	令和 年 月 日 ( 曜 ) 時 分～ 時 分	名
	作業箇所		
	月日	令和 年 月 日 ( 曜 ) 時 分～ 時 分	名
	作業箇所		
	月日	令和 年 月 日 ( 曜 ) 時 分～ 時 分	名
	作業箇所		
	月日	令和 年 月 日 ( 曜 ) 時 分～ 時 分	名
	作業箇所		

\*この用紙に記入し難い時は概略を記入し、詳細は適宜別紙としてかまわない。

上記のとおり作業を実施したので、報告します。

令和 年 月 日

契約者

印

※契約者の名義で作成し、契約書に押印した印を押印する。